

目次

1章 総則	
1.1 適用範囲	1
1.2 準拠図書及び規準	1
1.3 工事概要	1
1.4 変更、疑義、協議	1
1.5 検査員への周知徹底	1
1.6 検査管理組織	2
1.7 検査技術者	2
2章 検査要領	
2.1 適用範囲	3
2.2 検査項目	3
2.3 検査方法及びロットの合否	3
2.3.1 外観検査	3
2.3.2 超音波探傷検査	4
2.3.3 超音波探傷検査における抜取検査	4
2.4 品質基準	4
2.5 不合格部の処置	4
2.6 記録	5
2.6.1 検査箇所の表示	5
2.6.2 ロットの構成	5
2.6.3 外観検査	5
2.6.4 超音波探傷検査	5
2.6.5 報告書	5
3章 外観検査	
3.1 検査対象	7
3.2 検査方法	7
3.3 合否判定基準	7
4章 超音波探傷検査	
4.1 探傷装置	9
4.1.1 探傷器	9
4.1.2 探触子	10
4.1.3 探傷装置の点検	11
4.1.4 接触媒質	11
4.1.5 試験片	11
4.2 探傷試験の準備	11
4.2.1 確認事項	11

4.2.2	探傷の時期	12
4.2.3	探傷面の手入れ	12
4.2.4	K走査基準線のけがき	12
4.3	探傷装置の調整	12
4.3.1	測定範囲の調整	12
4.3.2	基準レベルの設定	12
4.3.3	合否判定レベルの設定	13
4.4	探傷試験	13
4.4.1	探傷方法	13
4.4.2	走査方法及び走査範囲	14
4.4.3	走査速度	18
4.5	合否判定	18
5章 不合格部補修後の検査		
5.1	不合格部補修後の検査	19

附属書1 検査報告書 サンプル

附属書2 鉄筋継手部検査技術者技量適格性証明書写し